

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年7月22日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市	代表者名	多々見 良三
担当者部署	情報システム課	連絡先電話番号	0773-66-1092
担当者役職	主査	担当者氏名	石塚 純
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	アドバイザー自身の経験に基づいて、豊島区や他市の事例を挙げて分かりやすく説明、回答をいただいた。
アドバイザーへの要望事項	他市町の事例で参考となる資料等があればいただきたい。今後とも適切なフォロー・アドバイスをいただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2020年7月17日	10時00分	11時30分		90
3-2. 派遣場所	会場名	舞鶴市役所		最寄駅	東舞鶴
	所在地	京都府舞鶴市字北吸1044		最寄駅からの交通手段	タクシー5分 (徒歩15分程度)
	派遣形態	事前打合せ (オンライン)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】 財政課、改革推進課、総務課、情報システム課の職員	人数	12 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい) 庁内の内部事務システムは、それぞれ別々でデータの連動ができず、事務の効率が悪い。システム更新の度に、統一化の議論は出てくるが、統一化によるメリット・デメリット、どのシステムを統一するかといった点が課題となっている。		
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	財務会計システムの更新を契機とした、内部システムの統一化の方向性を決定し、予算計上を行い、事務事業の効率化を推進すること。		
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	庁内システム統一化の手法 (マルチベンダーor統一ベンダー) のメリット、デメリットについて。システム関係の国の動向について。		
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	庁内システムの統一化について、他市の事例や導入方法のメリット・デメリット等説明いただいたので、これまで漠然としたイメージのシステムの統一化だったが、方向性が確認できた。		
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを行う必要がない事業だから。		
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する	
事業の最終的な目指す姿			

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

